

令和7年度 経営発達支援計画事業 報告書 [事業NO.1]

小規模企業景気動向調査 第2四半期 (R7年7~9月)

①業種及び地域別景気動向

| 業種 | 製造業 | | 建設業 | 卸・小売業 | | | サービス業 | | |
|-----|-------|----------|-------|--------|--------|--------|-------|-----|-----|
| | 食料品等 | 機械金属 | | 耐久消費 | 食料品 | 外食 | 旅館 | 理美容 | その他 |
| 町内 | 売上額 | ↖ | ↖ | ↗ | ↗ | ↖ | → | → | → |
| | 仕入単価 | → | → | → | → | → | ↖ | → | → |
| | 採算 | → | ↖ | → | ↗ | ↗ | → | → | → |
| | 資金繰り | → | → | ↖ | ↗ | → | → | → | → |
| | 業界の業況 | → | ↖ | ↗ | ↗ | ↗ | → | → | → |
| 北信 | | ↖悪化 | | ↗改善 | | ↗改善 | | ↖悪化 | |
| 県内 | | 足踏み状態にある | | | | | | | |
| 全国※ | | ↖-31.1 | ↗-8.4 | ↖-38.1 | ↗-13.7 | ↗-17.3 | ↗15.4 | | |

(※ 景況DI値で表示、十値が大きいほど好調)

② 景気動向報道及び特記事項

《町内》

省エネルギー関連投資を引き続き実施していく（機械部品製造業）

物価高騰によりメニューの価格改定を実施する予定（飲食店）

熊出没による風評被害が心配である（ペンション経営）

職人不足で工期が遅延気味で新たな需要に追いつかない（建設業）

《北信》

自動車用変速機部品の受注はやや減少しているが大きな変化ない。トランプ関税に注視（部品製造）

相変わらず人手不足と協力業者不足が続いている。加えて資材の高騰が追い打ち（造園）

猛暑で農作物の出来が悪い。味も悪く、イタミも多い（野菜果実卸売）

客室稼働率99.5%とほぼ満室の状態であった。4名以上の利用も多く売上高も増加（旅館）

《県内》

有効求人倍率は3ヵ月連続で前月を下回る。

《全国》

産業全体：現状維持の中、最低賃金引上げの対応が迫られる

製造業：全項目でわずかに改善を示すも、持続性に注視が必要

建設業：価格転嫁が進む一方、人手不足やコスト高が課題となる

小売業：採算は改善したものの、消費低迷で業況悪化が続く

サービス業：観光需要一服し、コスト高で収益悪化が続く

参考資料：

長野信用金庫「長野しんきん北信経済動向“すかい”」・長野経済研究所「経済月報」・日銀「経済動向」

日本政策金融公庫「全国中小企業動向調査結果」・全国商工会連合会「小規模企業景気動向調査」